

これからの 災害に備える



崩壊した蒲生～寄岩間の国道の様子

平成23年7月新潟・福島豪雨災害から10年が経ちました。昨年4月の五礼橋再開通により災害から不通となっていた町道橋が全て開通し、来年には只見線の復旧工事が完了予定となっています。

水害が残した爪跡は、多くの方の尽力により元通りになりつつありますが、近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯などによる大きな水害が増えてきています。今回の特集を災害の恐ろしさの再確認とこれからの災害に供えるキツカケにしてください。

只見町を襲った 平成23年新潟・福島豪雨災害

平成23年7月27日から30日にかけて、朝鮮半島から東北地方を通じて日本の東へ伸びた前線により、



二軒在家集落土砂流出

新潟県と福島県会津地方に記録的な大雨となり、只見町にも甚大な被害をもたらしました。

只見町では、7月27日に出された大雨警報が同日中に一度解除されましたが、雨は止まず28日朝に再び大雨警報が出されました。そして午後には洪水警報が追加発令となり、29日昼頃から町内各地で越水・冠水情報が報告されました。同日17時、災害対策本部が設置され、その直後に全町に避難勧告が出されました。この大雨により道路や橋の決壊、土砂流出により孤立してしまった集落もあり、自衛隊による救助活動も実施されました。

多くの方が当時のことを「想像を超えていた」、「未だかつて経験したことのないものだった」と話しています。



八木沢スノーシート道路崩壊



▲「本当に誰もが想像できないような災害が起きた」と話をする目黒邦友団長

新潟・福島豪雨の時は、想像を超えた災害がいきなり襲ってきました。越水や橋・道路の決壊が次々起こり情報共有も混乱しました。しかし各地区の消防団員や動ける人がすぐさま行動してくれたおかげで、被害が最小限に抑えられました。

災害の後、消防団もLINEを活用した情報共有の強化や警察官・消防士の方とも連携が取れるように話し合いをするなど、災害時により迅速に活動に移れるように改善を続けています。

しかし、災害は広域的に起きるため、救助の手が足りなくなることもあります。そのため大雨の前に、水や食糧を多めに備えておくなど災害への備えをしていただけると、結果的に一人でも多くの人を助けることにつながるかもしれません。ほんの少しだけでも構いませんので、災害を意識した行動を心がけていただければと思います。

自分自身の身を守るために

新潟・福島豪雨災害は、町内のいたるところに爪痕を残し残念ながら1名の行方不明者が発生しましたが、それ以外の人的被害はありませんでした。その理由として、当時の方のお話で「自主避難が早かったこと」、「声を掛け合って避難したこと」が挙げられています。

災害が迫ってきた時、「まずは自分の身は自分で守ること」が重要です。危険を感じる前に、早めに避難を開始してください。特に高齢者の方や障がいのある方は早めの避難が必要です。近所同士で声を掛け合い早めの避難を心がけてください。

また、災害が起きる前の準備も大切です。普段から災害時には、どのように行動するか家族で相談して決めておきましょう。

避難場所や避難経路を確認しておく

小中学校や集会所に行くことだけが避難ではありません。親戚・知人宅等への避難も含め、いざという時にどこへ避難するのか、避難のための経路はどこを通るのが安全かを確認しておきましょう。

家族同士の安否確認の方法を確認しておく

別々の場所にいる際に災害が発生しても安否が確認できるよう災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板などの使い方を確認しておきましょう。

避難時に持ち出すものを決めておく

通帳・ハンコといった貴重品や常用薬、衣類など避難時に持ち出すものを家族で相談しておきましょう。非常食は、水や電気などのライフラインが使えなくても食べられる缶詰やレトルト食品がおすすめです。

町のホームページで防災・災害情報の確認をしましょう

4月より町のホームページは、災害が発生し災害対策本部が設置されるとトップページに災害情報用ページの入口が表示されるようになりました。これにより町民の皆さんへ災害情報を分かりやすく提供出来るようになりました。また、防災に役立つ情報も集約しています。ぜひ一度ご確認ください。



QRコードを読み取ると町ホームページ災害情報用ページに移動します。
また、下記URLからアクセスできます。

(URL : <https://www.town.tadami.lg.jp/emergency/index.html>)



図上訓練 (只見町防災訓練)



土のう積訓練 (只見町防災訓練)



要支援者の避難を想定した訓練 (地域合同避難訓練)



只見中へ避難する朝日小児童たち (地域合同避難訓練)



水害の写真を見て恐ろしさを学ぶ (明和小防災授業)



模型による災害シミュレーション (只見小・水害出前講座)

⚠️ 災害に備えて行われた防災訓練 ⚠️

近年増加している大きな水害に備え、町では防災訓練や避難訓練、町内小学校では水害についての講座などが行われています。

7月4日の只見町防災訓練では、災害発生時の伝達訓練や土のう積訓練の他に、区長・民生委員・消防団で避難にサポートが必要な方の情報を地図上で把握し共有する訓練が行われました。

只見中学校、朝日小学校で7月8日に実施した地域合同防災訓練では、中学生が受付や検温などの役割を持ち、コロナ禍での避難や要支援者がいる想定で訓練を行いました。訓練後の全体会では、水害の恐ろしさと水の大切さを学びました。

只見小学校では、南会津建設事務所、福島県砂防ボランティア協会の方による水害出前講座が7月13日に行われ、災害の恐ろしさや砂防の重要性の他に、避難の仕方などを学びました。

明和小学校では、只見町の豪雨災害の様子を写真で見たり、どこが安全な場所かを考え自分の家からの避難経路を確認しました。

このように町内各地で10年前の豪雨を教訓として活かせるように様々な防災活動に取り組んでいます。



警戒
レベル

4

避難指示で 必ず避難を！ 避難勧告が廃止されました

災害時に市町村が発令する避難勧告を廃止し、避難指示に一本化することなどを定めた「改正災害対策基本法」が令和3年5月20日に施行されました。町から「避難指示」が発令された場合は、安全な場所（避難所など）へ避難してください。

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b>	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

## 警戒レベル5

警戒レベル5は、すでに安全な避難が出来ず、命が危険な状況です。警戒レベル5「緊急安全確保」が発令される前に避難をしてください。

※災害の状況が確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

## 警戒レベル4

避難勧告は廃止になりました。これまでの避難勧告のタイミングで避難指示が発令されるようになります。**警戒レベル4「避難指示」**で危険な場所から**全員避難**してください。



## 警戒レベル3

お年寄りの方や障がいのある方は、警戒レベル3「高齢者等避難」で安全な場所へ避難してください。

警戒レベル3は、高齢者以外の方も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。